

兵庫県初記録のゴマモンガラ *Balistoides viridescens* (Bloch et Schneider, 1801) 幼魚

石川 正樹

Record of a young fish of Titan triggerfish *Balistoides viridescens*
(Bloch and Schneider, 1801) in the Shioya fishing port,
Tarumi ward, Kobe city, Hyogo prefecture, Japan

Masaki ISHIKAWA

キーワード: ゴマモンガラ, *Balistoides viridescens*, キヘリモンガラ, 兵庫県, 瀬戸内海

はじめに

ゴマモンガラ *Balistoides viridescens* はフグ目モンガラカワハギ科に属し、神奈川県三崎以南の南日本からインド・西太平洋の熱帯域に分布している。最大60cmになり、繁殖期にすり鉢状の巣をつくり、親が巣を守る習性がある (岡村・尼岡 2009)。モンガラカワハギ科近縁種とは、吻部は口唇を除いて鱗に覆われること、口角後方に鱗がない皮褶があること (中坊 2013) で幼魚であっても区別が可能である。また、尾柄基部にある体表面の鞍掛け模様が腹ビレ基部までつながっていることも指標の一つとされる (加藤 2014; 瀬能・吉野 2002a)。

本種の幼魚は沖縄県、鹿児島県、宮崎県、和歌山県、静岡県での採集記録がインターネット上に報告されている (WEB魚図鑑)。一方、瀬戸内海における分布の記載はなく (中坊 2013; 加藤 2014; 瀬戸内海水産開発協議会 1997)、日本海側での採集記録もない (河野ほか 2014)。本種の幼魚1個体が兵庫県神戸市内で採集されたので報告する。本報告に用いた標本は、兵庫県立人と自然の博物館に保管した。標本番号は、MNHA-A1107815である。

採集および測定方法

採集地は、神戸市垂水区塩屋町1丁目4にある塩屋漁港内 (北緯34° 37' 52" 東経135° 04' 54") (図1) で、2014年7月26日午前9時頃に港内の船留まりに漂う



図1 塩屋漁港の場所 (図中の★印)
(国土地理院 <http://mapps.gsi.go.jp>)

流れ藻周辺を目視観察し、市販の三角型タモ網 (幅31cm, 柄の長さ160cm) ですくい取った。採集した個体はクーラーボックスに入れ持ち帰り、画像撮影した。その後、ホルマリン固定を行い、形態測定はホルマリン固定標本を用いた。体長は0.1mmまで、体重は0.05gまで測定した。また、実体顕微鏡を用いて吻部の観察および鰭条数の計数を行った。採集時に海水温を測定しなかったため、大阪湾水質定点自動観測データ配信システムを利用し、塩屋港から東へ2kmの須磨海釣り公園の海面下1mの測定値で代用した。

結果

ゴマモンガラ幼魚 (図2) についての記載

全長(TL) 39.7mm

体長(BL) 32.1mm



図2 ゴマモンガラ幼魚

体重(BW) 1.85g
 背鰭条数 3棘, 24軟条
 臀鰭条数 23軟条
 胸鰭条数 14軟条

採集時の海水温27.7℃(午前 9:00)

考察

ゴマモンガラ成魚については2012年に和歌山県白浜町で53cmが釣り上げられていること(紀伊民報 2012)から、紀伊半島南部に定着している可能性がある。塩屋港では他に、アミモンガラ *Canthidemis maculata* (Bloch, 1786) 幼魚2個体も採集された(TL 72.7mm, BL 66.8mm, BW 13.00gおよび TL 45.1mm, BL 38.6mm, BW 3.40g)。また、ソウシハギ *Aluterus scriptus* (Osbeck, 1765), オヤビッチャ *Abudefduf vaigiensis* (Linnaeus, 1758) の幼魚も目視確認できた。大阪湾内には恒流が存在しており、湾西部には沖ノ瀬を中心とする強い時計回りの循環流である沖ノ瀬環流がある(大阪湾環境データベース)。紀淡海峡を通過した魚類、特に遊泳力の弱い幼魚は、大阪湾を淡路島に沿って北上すると予想される。従って淡路島にもゴマモンガラを含めた暖海性の魚類の幼魚が来遊していると考えられる。

幼魚の形態がよく似た種にキヘリモンガラ *Pseudobalistes flavimarginatus* (Rüppell, 1829) がある。キヘリモンガラ幼魚は、北海道小樽、青森県八戸、千葉県館山から高知県柏島の太平洋沿岸で確認されている(中坊 2013)。同種は種同定の指標の一つである体表面の黒斑が背びれ軟条基部のみに留まることでゴマモンガラと区別さ

れる(加藤 2014; 瀬能・吉野 2002a)が、図鑑によっては両種の幼魚の写真が入れ替わっているものがある(岡村・尼岡 2009; 小林 2014; 串本海中図鑑 | 串本産魚類図鑑; 瀬能・吉野 2002b)。種同定の際には前述の吻部の鱗や口角後方の皮褶の有無といった指標を併用したほうがよいだろう。

謝辞

下関市立しものせき水族館「海響館」の園山貴之氏には、ゴマモンガラの種同定において飼育経験をもとにしたアドバイスをいただいた。深く感謝申し上げる。

引用文献

- 加藤 昌一. 2014. 改訂新版 海水魚 ひと目で特徴がわかる図解付き: 1000種+幼魚, 成魚, 雌雄, 婚姻色のバリエーション(ネイチャーウォッチングガイドブック). 352pp. 誠文堂新光社, 東京.
- 河野光久・三宅博哉・星野昇. 2014. 日本海産魚類目録. 山口県水産研究センター研究報告, 11: 1-30.
- 紀伊民報. 2012. 大物のゴマモンガラ釣れる 白浜・市江崎. 2012年6月30日付紙面.
- 小林安雅. 2014. 幼魚ハンドブック. 109pp. 文一総合出版, 東京.
- 国土地理院 地図・空中写真閲覧サービス.
<http://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do>
- 串本海中図鑑 | 串本産魚類図鑑.
http://www.env.go.jp/nature/nco/kinki/kushimoto/JP/zukan/fish_index.html
- 中坊徹次編. 2013. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 1706pp. 東海大学出版会, 神奈川.
- 岡村収・尼岡邦夫. 2009. 日本の海水魚3版. 686~667pp, 690p. 山と溪谷社, 東京.
- 大阪湾環境データベース
http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/data/b1_10kouryuu.html
- 大阪湾水質定点自動観測データ配信システム.
<http://222.158.204.199/obweb/index.aspx>
- 瀬能宏・吉野雄輔. 2002a. 幼魚ガイドブック. 118pp. 阪急コミュニケーションズ, 東京.
- 瀬能宏・吉野雄輔. 2002b. 幼魚ガイドブック. 118pp. TBSブリタニカ, 東京.
- 瀬戸内海水産開発協議会. 1997. 瀬戸内海のさかな. 株式会社ドプロ, 広島.
- WEB魚図鑑. <http://zukan.com/fish/internal531>